

夏休み こども連歌の会



平野区に残る伝統文化「連歌(れんが)」にチャレンジしてみましよう!

「連歌」は「みんなでつくる詩歌」です。ある人が詠んだ5・7・5の句に、別の人7・7の句を詠んで付けます。さらに別の人7・7の句を詠んで付ける.....という感じで、どんどん句を連ねていきます。そうして、ひとつの連歌作品ができあがるのです。

このイベントでは、来場されたみなさんに句を詠んでいただき、いっしょに連歌作品を完成させます。

むずかしそうですが、大丈夫! 講師のみなさんがやさしく教えてくださいます。

予約不要。お金もいりません。当日図書館に来れば参加できます。ぜひともお越しください。

日時	令和8(2026)年8月4日(火) 14時~16時
会場	大阪市立平野図書館1階入口すぐ (エントランス)
講師	平野法楽連歌会(ひらのほうらくれんがかい)と 平野図書館連歌会(ひらのとしょかんれんがかい)のみなさま
対象	小学生から中学生
定員	当日先着30名 当日来た人から順番に句を詠んでもらいます

裏面には、昨年の「こども連歌の会」で作られた作品を掲載しています→



大阪市立平野図書館

〒547-0043 大阪市平野区平野東1-8-2

電話 06-6793-0881

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>



夏休みこども連歌【笠著】

『なにもしたくない』の巻十二韻

表

発句 今日もまた暑くてなにもしたくない 結翔 (小5)夏

脇 クールなアイスがほしくなる夏 きみ (小2)夏

三 見渡せば水は流れてきらめいて 香乃 (先生)雑

四 もみぢの錦とりどりの色 きよの (大人)秋

裏 一 もちつきをしているうさぎ月ながむ 蛍 (小3)秋月

二 庭のどんほは何を恨むか 廉己 (先生)秋

三 もやの中届かぬ思ひもどかしい 絢音 (中3)雑

四 かなはぬ恋に泣くやをこめご もえり (先生)雑

五 願はくは出雲の神に頼むのみ 絹代 (大人)雑

六 旅路はるかか山をめぐり 典央 (大人)雑

七 花吹雪風にまかせて夢ひとつ 羽奏 (中3)春花

挙句 あたたかき歌つらねゆく袖 規子 (大人)春

夏休みこども連歌【笠著】

『思ひ出へくうね』の巻十二韻

表

発句 夏休みたくさん思い出つくろうね きみ (小2)夏

脇 時に限りがあると知る蟬 こはく (中3)夏

三 にはか雨雲のすがたのはかなくて 廉己 (先生)雑

四 暮い面影君よいづこへ 貴司 (大人)雑

裏 一 夕焼けにびかびか光る月の恋 たいし (小2)秋月

二 うはの空にてふたり訪ふ秋 もえり (先生)秋

三 波まかせ島々めぐる旅衣 貞子 (大人)雑

四 童あつめて雪あそびせん 康代 (大人)冬雪

五 老(おい)ぬれば神も仏も身に添ふか 規子 (大人)雑

六 風の匂ひのかすかなる庭 典央 (大人)雑

七 鳩(にほ)の湖(うみ)岸边につく花の道 絢音 (中3)春花

挙句 永(と)遠(は)に来えよ来たれうぐひす 貴司 (大人)春

夏休みこども連歌【笠著】

『昨日今日』の巻十二韻

表

発句 夏まつりブルーハワイが食たいな とき (5)感夏

脇 プールでたくさんおよいだからね みき (小3)夏

三 えんがはてそよ風つけてねそべつて もえり (先生)雑

四 をとめ初恋ころたかなる 康代 (大人)雑

裏 一 山の奥ちらりと見える月の君 恭平 (中2)秋月

二 よながながながふたりゆく旅 みな (小1)秋

三 やつと来た塚みなどの空晴れて 羽奏 (中3)雑

四 袖たくしあげはずむ足どり 香乃 (先生)雑

五 積む雪は早(は)や老(おい)の丈(たけ)古(き)寺 典央 (大人)冬雪

六 法(のり)の教えに耳かたむけむ 貴司 (大人)雑

七 かぜふくな目の前はいま花ざかり 楓 (小学生)春花

挙句 土のほひもよみがへる朝 大督 (館長)春